

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 硫酸

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 株式会社中橋商店

担当者 : 〒760-0036
香川県高松市城東町 1 丁目 2 番 3 号

電話番号 : 087-822-3711

FAX 番号 : 087-822-3714

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 一般工業用

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

爆発物	: 区分に該当しない
可燃性ガス	: 区分に該当しない
エアゾール	: 区分に該当しない
酸化性ガス	: 区分に該当しない
高圧ガス	: 区分に該当しない
引火性液体	: 区分に該当しない
可燃性固体	: 区分に該当しない
自己反応性化学品	: 区分に該当しない
自然発火性液体	: 区分に該当しない
自然発火性固体	: 区分に該当しない
自己発熱性化学品	: 区分に該当しない
水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
酸化性液体	: 分類できない

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

酸化性固体	： 区分に該当しない
有機過酸化物	： 区分に該当しない
金属腐食性物質	： 分類できない
鈍性化爆発物	： 区分に該当しない
急性毒性(経口)	： 分類できない
急性毒性(経皮)	： 分類できない
急性毒性(吸入－ガス)	： 分類できない
急性毒性(吸入－蒸気)	： 分類できない
急性毒性(吸入－粉じん及びミスト)	： 区分2
皮膚腐食性／刺激性	： 区分1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： 区分1
呼吸器感作性	： 分類できない
皮膚感作性	： 区分に該当しない
生殖細胞変異原性	： 分類できない
発がん性	： 区分1
生殖毒性	： 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	： 区分1(呼吸器系)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	： 区分1(呼吸器系)
誤えん有害性	： 分類できない
水生環境有害性 短期（急性）	： 区分3
水生環境有害性 長期（慢性）	： 区分1
オゾン層への有害性	： 分類できない

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

:



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H330 吸入すると生命に危険。
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H350 発がんのおそれ。
H370 呼吸器系の障害
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系の障害。
H402 水生生物に有害。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

:

安全対策:

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260 粉じん/煙ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P264 取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚をすべてよく洗うこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P284 換気が不適切な場合は呼吸保護具を装着すること。

応急措置:

P391 漏出物を回収すること。
P303+P361+P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P301+P330+P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P308+P310+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合：ただちに医師に連絡して、診察/手当てを受けること。
P308+P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管:

P233+P403+P405 容器を密閉して、換気の良い場所で施錠

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

して保管すること。

廃棄：

P501国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って、内容物/容器を適切に廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非常事態の概要： 水と激しく反応。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 化学物質

成分名称	CAS番号	濃度(%)	化審法番号	安衛法番号
硫酸	7664-93-9	70-100	(1)-430	公表化学物質
水	7732-18-5	0-30	非該当	非該当

危険有害成分

化学名	CAS番号	含有量(%w/w)	化審法(ENCS)/ 安衛法(ISHL) 番号
硫酸	7664-93-9	100	1-430

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。
呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。
口対口法を用いてはならない。
鼻、口、喉を水でゆすぐ。
体を毛布などで覆い、保温する。
直ちに医師の診察／手当てを受けること。
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。
物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。経過観察をする必要がある。

皮膚に付着した場合： 多量の水で洗うこと。
洗浄しながら、直ちに患部に付着していない汚染された靴と服を取り除く。
直ちに医師の診察／手当てを受けること。
物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。経過観察をする必要がある。
傷害を生じた皮膚に不必要に触れない。
清潔な木綿布またはガーゼで覆う。

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

- 眼に入った場合
- ： 眼を擦ってはならない。
まぶたを開いた状態に保つ。
できるだけ早く水で洗い始め、数分間注意深く洗う。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師の診察／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合
- ： 口をすすぐこと。
吐かせないこと。
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
体を毛布などで覆い、保温する。
直ちに医師の診察／手当てを受けること。
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。
呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。
呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。
口対口法を用いてはならない。
- 応急措置をする者の保護
- ： 救助の際は保護具を着用する（「8. ばく露防止及び保護措置」を参照）。
人工呼吸には、逆流防止バルブのついたポケットマスクや他の適切な医療用呼吸器を用いる；口対口法を用いてはならない。
救助者は、救助の最中、自身の危険にも注意する。
本製品が発がん性物質を含むことに注意する。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤
- ： 本製品は不燃物のため、本製品に対する消火剤は決定できない。
- 使ってはならない消火剤
- ： 棒状水
水
泡消火剤
- 特有の危険有害性
- ： 漏出すると火災・爆発の危険性がある。
可燃物を発火させるおそれがある。
混触危険物質と接触すると火災や爆発の危険性がある。
外部火災の熱によって、容器内で急激に分解して、容器の破裂に至るおそれがある。
混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）に留意して、適切な冷却手段にて容器を冷却する。
本製品は禁水であり、消火剤に水を用いることは厳禁。
間違って消火に水を用いたり、周辺火災で水を用いたりすると、以下の反応を生じる事がある：
発火

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

爆発
激しい反応
燃焼ガスおよび/または分解ガスには、刺激性、腐食性および/または毒性のガスが含まれるおそれがある。
消火水中に有害物が含まれ、環境や生物に影響を与えることがある。

特有の消火方法

： 危険でなければ漏れを止める。
ポンペ/容器の破裂等の危険が推定される温度を超えそうな場合は、危険な温度に到達する前に、直ちに退避する。
消火には、絶対に水を用いないこと。
風上から作業する。
関係者以外の立ち入りを禁止する。
周辺の他の未燃可燃物の防護：可能かつ安全ならば、ポンペ/容器を移動させる。
外部火災からの製品防護：可能かつ必要がある場合は、製品の入ったポンペ/容器を安全な場所に移動させる。

消火を行う者の保護

： 周辺火災に適応した、各国、地域で規定された標準の全身保護衣および空気式呼吸器（SCBA）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護
具及び緊急時措置

： 人体に対する注意事項
換気が不適切な場合は呼吸保護具を装着すること。
適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」参照）を着用して、飛沫等の眼または皮膚への付着や、ミストまたは蒸気の吸入をしないようにする。
緊急処置
風下の人を退避させ、風上から作業する。
関係者以外の立ち入りを禁止する。
周辺環境に、影響（健康被害を含む）を及ぼすおそれがある場合は、周辺の居住者に警告する。
大きな安全地帯を設定する。
二次災害の防止策
排水溝、下水溝、地下室、くぼ地あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
漏出物を回収した容器内に水を入れてはならない。

環境に対する注意事項

： 環境中に放出しないこと。
漏出物が水系（河川や下水など）に流入しないように、堤を作って堰止める。

封じ込め及び浄化の方法及び機
材

： 速やかに回収する。
危険でなければ漏れを止める。
水や湿気に触れさせてはならない。
乾燥砂や乾燥パーミキュライト等の不燃材料に染み込ませるか覆う。さらにプラスチックシート等で飛散防止し、雨、雪、露等で濡れないようにする。

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

広がらないように堰を作り、後で廃棄する。
水系（河川や下水など）へ拡散しないように、速やかに堤を作って堰止める。
少量漏出の場合、専門家の指導で漏洩物をアルカリで注意深く中和する。多量の水で洗い流す。
全量を回収する。
可燃物を漏出物から隔離する。
漏洩または漏出物を回収する場合は、専門家のアドバイスを求める。
漏出物を掃き集めて密閉できる乾燥容器に回収し、安全な場所に移す。
残留分を注意深く集め、安全な場所に移す。
回収作業は、安全取扱い（「7. 取扱い及び保管上の注意」参照）措置をしたうえで実施すること。
廃棄方法は「13. 廃棄上の注意」を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ： 水や湿気に触れさせてはならない。
完全に除湿された窒素等の不活性雰囲気を取り扱うこと。
本製品から発生するガスや蒸気は、空気よりも重く、遠方着火あるいは健康被害や環境影響が発生するおそれがあるので、くぼ地、溝および排水溝等に流出させない。
ミストの発生を防止する。
漏洩ばく露に備えて、風上から作業する。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
設備対策を行い、保護具を着用する（「8. ばく露防止及び保護措置」参照）。
ミスト／蒸気を吸入しないこと。
眼や口に入れない、また皮膚に付けない。
眼、皮膚、衣服への接触を避ける。
休憩場所には、汚染された保護具を持ち込まないこと。
皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らない様に適切な保護具を着用する。
可能な限り、使い捨ての保護衣を着用する。
汚染された作業衣は、適切な方法で廃棄または洗浄・再利用すること。
汚染された保護衣は安全な方法で廃棄すること。

局所排気、全体換気

- ： 局所排気および/または全体換気を行う。
床に沿って換気する。

安全取扱注意事項

- ： 混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）から離しておく。

衛生対策

- ： 使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

密閉系で取り扱えない場合は、屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

本製品を吸入してはならない。

ヒトへのあらゆるばく露を避けること。

皮膚および眼との接触を避けること。

眼や口に入れない、また皮膚に付けない。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は、適切な方法で廃棄または洗浄・再利用すること。

汚染された保護具、作業衣等を処分する際は、周辺環境を汚染することがないように適切な方法を用いること。

取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚をすべてよく洗うこと。

保管

安全な保管条件

- ： 耐火設備を備えた場所に保管する。
- 保管場所には、必要な採光または照明および換気の設備を設ける。
- 保管場所の床は、床面に水が浸入/浸透しない構造とする。施錠して保管すること。
- 完全に乾燥または除湿された雰囲気 で保管する。空気や湿気を遮断すること。
- 内容物を、適当な液体/不活性ガスの中で適切に保管すること。
- 食品、飲料水、動物の餌から離しておく。
- 直射日光を避ける。
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 排水管や下水管へのアクセスのない場所で貯蔵する。
- 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 乾燥した場所で密閉容器に保管すること。

安全な容器包装材料

- ： 適した材質：ライニングのない鋼（含有率85%以上）、ステンレス鋼（含有率85%以上）、鉛（含有率85%以下）、ゴム（含有率85%以下）
- 適さない材質：アルミニウム、銅、樹脂
- 国連輸送勧告が指定する容器を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別ばく露限界/許容濃度

成分	CAS番号	指標(ばく露形態)	管理濃度/許容濃度	出典
硫酸	7664-93-9	OEL-C	1mg/m3	日本産業衛生学会（許容濃度）
		TWA(胸内濃度)	0.2mg/m3	ACGIH

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

設備対策

： 吸収装置を備えた局所排気装置および/または全体換気装置を使用する。
取扱場所に、手洗い設備、洗身洗眼設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

： 呼吸用保護具は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された、使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。
緊急時および漏出時の措置では、空気呼吸器あるいは循環式酸素呼吸器(SCBA)を着用する。
防毒マスク
防毒マスク（酸性ガス用）

手の保護具

： 手の保護具は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された、使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。
不浸透性保護手袋

眼の保護具

： 眼の保護具は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された、使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。
安全ゴーグルまたは保護眼鏡と防災面

皮膚及び身体の保護具

： 個人用保護具(PPE)は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された、使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。
防止、靴、合羽等を含む適切な不浸透性保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 粘性液体

色 : 無色

臭い : 無臭

融点／凝固点 : 10℃（98%以上）

沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 340℃（98%以上）
（分解）

可燃性 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発範囲の上限／可燃上限値 : データなし

爆発範囲の下限／可燃下限 : データなし

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

値

引火点	: 不燃性
分解温度	: 340℃ (98%以上)
pH	: 0.3 1N 1.2 0.1N 2.1 0.01N
蒸発速度	: データなし
自然発火温度	: 不燃性
粘度	
粘度(粘性率)	: 27mPa. s (20℃) (98%以上)
動粘度(動粘性率)	: データなし
溶解度	
水溶性	: 混和
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log値)	: log Pow: -2.20 (98%以上) 推定値
蒸気圧	: 0.0067Pa (25℃) (98%以上) 0.13kPa (146℃) (98%以上)
密度及び／又は相対密度 比重	: 1.8356 (15℃) (98%以上)
密度	: データなし
相対ガス密度	: 3.4 (98%以上) (空気=1.0)
粒子特性 粒子サイズ	: データなし

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性 : 常温で水や空気中の水分と反応する。
吸湿性がある。
- 危険有害反応可能性 : 還元剤
可燃性物質
アルカリ水
: 激しく反応するおそれ
塩基
酸化剤
還元剤
可燃性物質
有機物
: 火災や爆発のおそれ
水
湿気
: 火災、爆発、および有毒ガスの発生のおそれ
加熱
: 有毒ガス発生のおそれ
金属
: 可燃性ガスを発生し火災や爆発のおそれ
- 避けるべき条件 : 水
湿気
加熱
- 混触危険物質 : 可燃性物質
酸化剤
塩基
アルカリ
有機物
金属
還元剤
水
- 危険有害な分解生成物 : 硫黄酸化物

11. 有害性情報

- 可能性のあるばく露経路の情報 : 経口
吸入
経皮
眼
- 急性毒性
- 急性毒性（経口） : 備考：データなし

硫酸

改訂日:
2022/02/18Spec ID:
900000054093前回改訂日: 2018/04/01
初回作成日: 2018/01/25

急性毒性（経皮） : 備考: データなし

急性毒性（吸入） : LC50(ラット): 0.375mg/l
ばく露時間: 4h

(ヒト): 方法: 臨床報告標的
臓器: 呼吸器系
備考: 粉じん、ミストおよび煙

皮膚腐食性／刺激性

結果: pHに基づく

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

結果: pHに基づく

呼吸器感作性又は皮膚感作性

試験タイプ: 呼吸器感作性
備考: データなし試験タイプ: 皮膚感作性
種: ヒト
方法: 疫学情報
結果: 感作性なし

生殖細胞変異原性

invitroでの遺伝毒性 : 備考: データなし

invivoでの遺伝毒性 : 備考: データなし

発がん性

ACGIH: A2

IARC: 1

NTP: K

種: ラット
投与経路: 経口
方法: 発がん性試験
結果: 発がん性あり

生殖毒性

妊娠に対する影響 : 備考: データなし

胎児の発育への影響 : 種: ウサギ
投与経路: 吸入

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25方法：生殖発生毒性試験
結果：胚胎児致死作用なし，催奇形性なし種：ウサギ
投与経路：吸入
方法：催奇形性試験
結果：催奇形性なし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

急性毒性（「11. 有害性情報」）を参照

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

種：ラット
投与経路：吸入
方法：28日間反復投与毒性試験標的
臓器：呼吸器系

誤えん有害性

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性 : LC50(ブルーギル):16-28mg/l
ばく露時間:96hrsミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 EC50(ミジンコ):29mg/l
ばく露時間:24hrs藻類に対する毒性 ErC50(緑藻):>100mg/l
ばく露時間:24hNOEC(緑藻):100mg/l
ばく露時間:72hrs

魚毒性(慢性毒性) : NOEC(魚類):0.025mg/l

ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性(慢性毒性) : 備考:データなし

残留性・分解性

生分解性 : 備考:データなし

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

生体蓄積性

生体蓄積性 : 備考:生物蓄積の可能性は低い。

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

オゾン層破壊係数 : 国際規制:UNEP-オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書のためのハンドブック
備考:リストに掲載なし

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って、内容物/容器を適切に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UNnumber) : UN1830
国連輸送名 (Proper shipping name) : SULPHURIC ACID
国連分類 (Class) : 8
容器等級 (Packing group) : II
ラベル (Labels) : 8

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID番号 (UN/ID number) : UN 1830
国連輸送名 (Proper shipping name) : Sulphuric acid
国連分類 (Class) : 8
容器等級 (Packing group) : II
ラベル (Labels) : Corrosive
梱包指示（貨物機）(Packing instruction (cargo aircraft)) : 855
梱包指示（旅客機）(Packing instruction (passenger aircraft)) : 851

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号(UNnumber) : UN 1830
国連輸送名(Proper shipping name) : SULPHURIC ACID
国連分類(Class) : 8
容器等級(Packing group) : II
ラベル(Labels) : 8
EmSコード(EmS Code) : F-A, S-B
海洋汚染物質(該当・非該当)(Marine pollutant) : 該当

MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当。

緊急時応急措置指針番号

137

国内規制

国の特定の法規制は、項目15を参照する。

特別の安全対策

備考 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確
実にを行う。
車輦、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、
緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説さ
れるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサ
イズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。
消防活動阻害物質 貯蔵等の : 硫酸
届出を要する物質

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2（施行令別表第9）

化学名	番号	含有量（%）
硫酸	613	>=90 - <=100

名称等を表示すべき危険物及び有害物法

第57条（施行令第18条）

化学名	番号
硫酸	613

特定化学物質障害予防規則-第三類物質

化学名
硫酸

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令-別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法劇

毒物

化学名	政令番号
硫酸を含有する製剤	104

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第2, 3条危険物告示別表第1：腐食性物質

航空法

施行規則第194条危険物告示別表第1：腐食性物質

硫酸

改訂日：
2022/02/18Spec ID：
900000054093前回改訂日：2018/04/01
初回作成日：2018/01/25

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質 (Y類)

個品輸送 : 海洋汚染物質

水質汚濁防止法

指定物質（法第2条4項、施行令第3条の3）

麻薬及び向精神薬取締法

麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

化学名

硫酸

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。